

「金沢市自転車活用推進計画策定(骨子案)について」

パブリックコメントでのご意見の概要と金沢市の考え方(回答)

募集期間 令和元年11月22日～令和元年12月21日

意見 11件 (意見者3名)

【「骨子案全体」について】

No.	いただいたご意見の概要	金沢市の考え方
1	<p>とどまる様子のない温暖化型豪雨災害の中、自転車利用による脱車社会は期待が大きい。</p> <p>一方、「はしる とめる まもる いかしひろめる」の通り、自転車利用の課題が山積しており、これらの解決を地道にこつこつ行っていく必要がある。</p>	<p>平成23年に「金沢市まちなか自転車利用環境向上計画」を策定し、平成27年に中間見直しを行い、まちなかだけでなく、郊外においても自転車施策を推進してきました。</p> <p>本計画では、これまでの自転車施策の取組を継続・発展させ、従来の「つかう」を「いかしひろめる」とし、移動手段としての利用に加え、新たに健康・観光など多様な視点で自転車の活用を広く推進してまいります。</p>
2	<p>これまで金沢市の自転車推進を見てきたが、まちなかの「移動手段としての自転車」についてのみ語られていた。新たに始めた取り組みで、まずは足元の一部に限って行動しているのだろうと思っていた。</p> <p>今回新たに自転車活用推進計画の骨子案ができたこと楽しみに拝見してみれば、今までと変わっていない。</p>	

【「はしる」について】

No.	いただいたご意見の概要	金沢市の考え方
3	<p>自転車レーンなどが年々整備されて、自転車走行空間が確保されつつあり、自転車に関連する事故が激減し成果をあげていることは誠に結構なことであるが、歩道を歩行者を脅かすように走る自転車がまだまだ多い現状はいかがなものか。</p> <p>課題にも挙げられているように、もっと思い切った自転車走行空間確保を行う必要がある。</p>	<p>歩道は歩行者優先であることを周知するため、交通安全教育の実施により、ルール遵守・マナー向上を図っているところです。</p> <p>自転車通行空間の整備について、関係機関との連携を図りながら、引き続き推進してまいります。</p>

【「とめる」について】

No.	いただいたご意見の概要	金沢市の考え方
4	<p>「はしる」と「とめる」は自転車の前後車輪のごときである。目的地に駐輪場が無くては自転車利用も進まない。しかし、現状はまちなかには駐車場は目につくが、悲しいことに駐輪場は表通りからはすっかり隠ぺいされている。</p> <p>大きな駐輪場はいらないので、各お店や施設ごとに使いやすい駐輪場設置を促すような施策を期待する。</p>	<p>公共施設における駐輪場の整備や、案内看板の設置による適切な誘導により、駐輪場の適正利用を図ってまいります。</p> <p>駐輪場設置を促す施策については、放置駐輪の状況や既存施設の駐輪場整備状況などを踏まえて検討してまいります。</p>

【「まもる」について】

No.	いただいたご意見の概要	金沢市の考え方
5	自転車利用の課題について、すべての面において不十分で、がんばっているけれど、実際には使い勝手は決してよくない。「歩きスマホ歩行者とながら自転車の衝突リスクが高まる一方」といった意見が、金沢市eモニター制度の結果からも分かる。	自転車の利用しやすさの向上、交通ルール遵守・マナー向上の施策の充実・強化に引き続き取り組んでまいります。
6	徹底した交通教育が必要で、家庭、学校を巻き込んで行う必要があると思う。教育行政との連携が重要かと思う。	小学3年生に対する自転車教室、中高校生に対するルール・マナー検定等に取り組んでいるところであり、引き続き教育機関との連携を図ってまいります。

【「いかしひろめる」について】

No.	いただいたご意見の概要	金沢市の考え方
7	<p>施策の中にはスポーツや他産業への活用などに触れられている部分がない。</p> <p>自転車とは単なる移動手段ではなく、競技や生涯スポーツとして楽しんでいる方もいる。</p> <p>自転車の種類も、一般車からロードバイク、シクロクロス、マウンテンバイク、ミニベロ、クロスバイク、折りたたみなど様々である。さらには、Eバイクといった新しいジャンルの自転車も登場してきている。</p> <p>骨子案なので概要部分だけしか掲載されていないのかもしれないが、まだまだ自転車を移動手段としてしか見ていないのではないかと感じられる。</p>	<p>「市民のライフスタイルに自転車が浸透し、誰もが安全で快適に自転車を活用できるまちを創る」ことを基本目標とし、これまでの移動手段としての利用に加え、健康、観光、防災など多様な観点で環境にも優しい自転車の活用を推進してまいります。</p> <p>スポーツや他産業への活用については、ご意見や他の自治体の事例を参考に、本市の実情に合った様々な施策について研究してまいります。</p>
8	<p>他の自治体では森林の維持管理にマウンテンバイクを活用したり、インバウンド需要を喚起するためにサイクルツーリズムを推進するなど自転車の様々な活用方法を見出している。</p> <p>今一度自転車とは何か、現代の自転車の在り方、観光客だけでなく地元のサイクリストが求めているものは何か、そういった根本的なところから検討していただければ幸いである。</p>	
9	「いかしひろめる」ためにはクルマから自転車への移動手段のシフトが肝要である。ドライバーからのクレーム覚悟で施策を進めることは難しいかもしれないが、明日の金沢のためには是非取り組んでほしい。	クルマに過度に依存しない移動手段の確保を図るため、健康増進や環境負荷の低減に寄与する自転車の活用を推進してまいります。

【「まちのり」について】

No.	いただいたご意見の概要	金沢市の考え方
10	<p>市民利用者の割合が低いものの、利用者にとっては一定の評価があるように思う。逆に、一般の市民目線では、まちのりは観光客向けであり、最近の電動キックボードの動きの中、すでに古い技術という意見もある。</p> <p>観光客の意見では、「どこにあるのかわかりにくい」、「あっても不便」という意見がみられ、初期アイデアはよいものの、実際の使い勝手の改善は避けられないように思う。</p> <p>市民の足となるためには、郊外にも整備するなど使えるまちのりをめざす必要がある。</p> <p>ドイツの事例のように、ICT化とユビキタス化が重要な観点に感じる。</p>	<p>今年3月に、ポートのエリア拡大や案内機能の強化、全車電動アシスト付自転車とするなど利便性を向上させた新しい「まちのり」をスタートする予定であり、市民も含めより多くの利用の促進を図ってまいります。</p>
11	<p>言い方は悪いが、まちのりは自転車の能力をスポイルされたおもちゃだと思う。たしかに、小さくてかわいく、親しみやすいですが低速がゆえに歩道走行を強いられた存在にしか見えなない。自転車の良さを台無しにしている。</p> <p>思い切ってクロスバイクなどのスポーツバイクを導入し、ドライバーからサイクリストに転換を促すような機会となる存在となることを期待する。</p>	<p>「まちのり」の自転車は、誰もが利用しやすいようにタイヤサイズ20インチの小径車としており、スポーツバイクの導入については、利用者のニーズを踏まえて検討してまいります。</p>